

74. ^{ひ た なかつかいどう}日田・中津街道

選定箇所:^{いしぎかいしだたなみち}石坂石畳道

概要

【日田・中津街道 石坂石畳道】

江戸時代、日田代官所と中津・宇佐を結ぶ往還の一部である。全長1.26キロメートルほどで現在の市ノ瀬町から伏木町にかけて通ずる。

嘉永三(一八五〇)年に完成したこの道は、当時は森藩領であり、隈町の掛屋京屋山田作兵衛常良が森藩に願い出て、周防の石工を招き工事に取り組んだ。

翌年に建てられた廣瀬淡窓撰文の「石坂修治碑」に詳細な内容が伝えられている。



石坂石畳道

写真提供：日田市教育委員会